

日銀が金融緩和のため  
に大量に買っている国債  
の含み損が年内に10兆円  
を越す見通しになった。  
長期金利の低下（価格の  
上昇）を背景に、額面を  
大幅に上回る高値で国債  
を買っているためだ。政  
府機関の決算や会計を検  
査する会計検査院も「日  
銀は財務健全性の確保に  
努めることが重要」と懸  
念を示している。

## 国債で含み損 日銀10兆円に

### 検査院も懸念示す

日銀は年80兆円程度の  
国債を買う。債券市場で  
は国がマイナスの利回り  
で発行した国債を買った  
金融機関が、それよりも  
低い利回り（高い価格）  
で日銀に売る取引が広が  
る。国の利払い負担が減  
り、金融機関が値ざやを  
得る分だけ、日銀の損失

が膨らむ構図だ。  
日銀による国債の購入  
額と額面の差が日銀の含  
み損になる。異次元緩和  
を導入直後の2013年  
4月末の損失額は約1兆  
4000億円だったが、  
今年10月末時点では約9  
兆3200億円に拡大。  
法政大学の小黒一正教授

は「年末にも10兆円を越  
す」と試算する。  
日銀は損失を国債の満  
期までの期間で分割して  
計上する。国債からは利  
息収入が得られるため、  
実際の損失はその分だけ  
減るが、含み損は緩和が  
長引けば膨らむ。損失か  
ら利息収入を除いた収支  
は「18年度にも赤字にな  
る可能性が高い」（日本  
経済研究センター）。

会計検査院は日銀の財  
務状況を分析。4～6月  
に日銀が買った国債全体  
の利回りがマイナス水準  
になったと指摘した。日  
銀の財務内容が悪化すれ  
ば、国への納付金が減り  
国の財政に響く。将来的  
に財務健全化のために国  
の支援を受けることにな  
れば、金融政策の独立性  
や通貨の信認が揺らぐ事  
態も招きかねない。